

平成 29 年度 職場の年末安全衛生推進運動実施要綱

愛知労働局・労働基準監督署

1 趣 旨

愛知県内における労働災害の死亡者数は、平成 28 年に過去最少を記録したものの、なお 43 人の尊い命が失われました。休業 4 日以上之死傷災害については、増減を繰り返しながらも長期的には減少傾向にあります。平成 28 年は前年より 11 人の増加となり、6,360 人が被災しています。

本年の死傷者数は、昨年同時期を上回る件数で推移しており、平成 29 年において、平成 24 年と比較して労働災害による死傷者数を 15%以上減少（5,433 人以下）させることとする第 12 次労働災害防止推進計画の目標達成が困難な状況となっており、尚一層の安全衛生管理活動の推進により、災害防止を図ることが必要となっています。

このような中、年の瀬を迎える慌ただしさの中で、不幸な労働災害により、働く仲間の誰一人としてケガすることなく、明るく新たな年を迎えられるよう、危険源の性質に着眼したりリスクアセスメントの手法を用いた論理的な安全衛生管理の推進と定着による労働災害の防止を図るため「平成 29 年度 職場の年末安全衛生推進運動」を展開します。

2 推進スローガン

「 無災害 みんなで迎える 明るい新年 」

3 職場の年末安全衛生推進運動目標

論理的な安全衛生管理の推進・定着による労働災害の防止

4 平成 29 年度 職場の年末安全衛生推進運動 実施期間

平成 29 年 12 月 1 日 ~ 平成 29 年 12 月 31 日

5 主 唱 者：愛知労働局・各労働基準監督署

6 協 賛 者：中央労働災害防止協会中部安全衛生サービスセンター、建設業労働災害防止協会愛知県支部、陸上貨物運送事業労働災害防止協会愛知県支部、港湾貨物運送事業労働災害防止協会東海総支部、林業・木材製造業労働災害防止協会愛知県支部、(独)労働者健康安全機構愛知産業保健総合支援センター、(公)安全衛生技術試験協会中部安全衛生技術センター、(公)愛知労働基準協会、各地区労働基準協会、(公)建設荷役車両安全技術協会愛知県支部、(一)日本ボイラ協会愛知支部、(一)日本クレーン協会東海支部、日本労働安全衛生コンサルタント会愛知支部

7 主唱者及び協賛者の実施事項

- (1) 局署幹部と労働災害防止団体幹部との合同パトロール
- (2) 職場の安全衛生推進運動啓発のポスター・リーフレット配布等広報
- (3) 事業者の行うリスクアセスメント等への支援・指導

8 事業者の実施事項

- (1) 経営トップによる安全衛生への所信表明と職場巡視
- (2) 危険源の性質に着眼したリスクアセスメントの手法による災害防止対策
 - ア 「危険性又は有害性等の調査等に関する指針」による対策検討
 - イ 職場内で使用される化学物質の安全データシート（SDS）情報に基づく管理
 - ウ 応急対策のまま、リスク対応が先送りされている箇所の恒久対策処置
- (3) 学生アルバイト等新規採用者への雇い入れ時安全衛生教育の確実な実施
- (4) 学生アルバイト始め未熟練労働者への OJT による安全作業方法の習熟訓練
- (5) 腰痛予防、薬傷防止等化学物質対策、過重労働防止・メンタルヘルス対策等の推進